

あしや砂像展2023



ときを超えて 昆虫



オープニングセレモニー

10月27日～11月12日の17日間に、6万1375人の来場があり、多くの人に砂像の魅力を楽しんでもらうことができました。



日本
プロデューサー
ちやえんかつひこ
茶園勝彦さん



プロデューサーの茶園勝彦さんは、次のように話していました。「『昆虫記』の著者ファーブルの生誕200周年を記念して、『昆虫』がテーマに選ばれました。一流のプロ砂像彫刻家チーム（海外6カ国7人、国内3人）で、3週間以上かけて完成させた作品ですが、天候もよく立派なものになりました。親しみを感じるテーマなので、たくさんの人に楽しんでもらいたいです」



ドイツ
ボウク・アテマさん



イタリア
レオナルド・ウゴリニさん



オランダ
マリエレ・ヒーセルスさん



日本
だいくぞの
大工園 望さん



ベルギー
アンゲフォン・ディビッドさん



アメリカ
スー・マクグリューさん



イタリア
ミケーラ・チャッピーニさん



日本
廣岡圭さん



日本
だいくぞの
大工園昭則さん



アイルランド
ファーガス・マルバニーさん



国内交流ゾーン作品



みんなの力で開催できました。ありがとうございました。

